

〔原著〕 松本歯学 36 : 87~92, 2010

key words : 患者趨勢 — 休日診療 — 夜間緊急診療

松本歯科大学病院における夜間・休日緊急歯科診療の現状

小笠原慶一¹, 石濱 孝二¹, 岡山 政樹¹, 安田 浩一¹,
澁谷 徹², 内藤 幸子³, 宮沢 裕夫⁴, 古澤 清文¹

¹松本歯科大学 口腔顎顔面外科学講座

²松本歯科大学 歯科麻酔学講座

³松本歯科大学 病院看護部

⁴松本歯科大学 病院長

Current status of outpatients at the emergency unit
in Matsumoto Dental University Hospital

KEIICHI OGASAWARA¹, KOHJI ISHIHAMA¹, MASAKI OKAYAMA¹,
KOUICHI YASUDA¹, TOHRU SHIBUTANI², YUKIKO NAITO³,
HIROO MIYAZAWA⁴ and KIYOFUMI FURUSAWA¹

¹*Department of Oral and Maxillofacial Surgery, School of Dentistry, Matsumoto Dental University*

²*Department of Dental Anesthesia, School of Dentistry, Matsumoto Dental University*

³*Department of Nursery, Matsumoto Dental University Hospital*

⁴*Director of Matsumoto Dental University Hospital*

Summary

To understand the current status of the urgent dental and oral surgical treatment during after-hour and holidays, we investigated clinic-statistically the outpatients at the emergency unit of Matsumoto Dental University Hospital from April 2008 to March 2010. The number of emergency outpatients was 748 in 2008 and 680 in 2009 school year, respectively. The chief complaints were “pain”, “inflammation” and “injury” in order, and they occupied 79.1% of all. The emergency patients tended to increase at August and December. The arriving time to Hospital showed two peaks that one was early evening in holidays and the other was around 20 : 00 in weekdays. The emergency outpatients resided in Matsumoto city (527 patients), Shiojiri city (387 patients), Higashi-Tsukama county (111 patients) and Azumino city (103 patients). Matsumoto Dental University Hospital seemed to contribute the regional emergency dental and oral surgical treatment.

緒 言

松本歯科大学病院は長野県中信地域の歯科診療における中核基幹病院である。平成20年4月18日に新病院がこれまでの病院敷地内に開院した。地域医療の中で本病院の役割は、この地域の開業歯科医院と連携体制の下に治療を行うことと、夜間・休日緊急診療体制を整えていることである。そこで、新病院が開院して2年が経過し、夜間・休日緊急歯科診療の現状について検討したので報告する。

対象と方法

松本歯科大学病院の夜間・休日緊急診療体制について（図1）

2010年3月31日現在、松本歯科大学病院の平日の通常診療時間は8時30分から17時30分、土曜日は13時までである。それ以外の時間では、当直医が対応することとなっている。当直体制は、平日は17時30分から、土曜日は13時から翌朝8時30分まで口腔外科あるいは歯科麻酔科の歯科医師1名と病棟看護師1名で対応している。日曜・祝日は8時30分から翌朝8時30分まで口腔外科の歯科医師1名と病棟看護師1名で対応している。口腔外科と歯科麻酔科の歯科医師は外来救急患者のほか、入院中の患者対応も兼務している。なお、日

曜・祝日の8時30分から17時30分まで、口腔外科と歯科麻酔科以外の歯科診療科の歯科医師1名と歯科衛生士1名が口腔外科的疾患以外の救急患者の対応にあたっている。

2008年4月18日から2010年3月31日までの約2年間に松本歯科大学病院の夜間緊急診療、および、休日緊急診療のうち口腔外科医が対応した患者を対象とした。2008、2009年度の年度別に、

- 1) 疾患内容内訳
- 2) 新規・再来別の件数
- 3) 月別の件数
- 4) 曜日別の件数
- 5) 時間帯別の件数
- 6) 地域別の件数

について調査した。新規・再来の区別では、松本歯科大学病院受診歴の有無により分類し、受診歴がまったく無い患者を新規とし、本院の診察券番号を保有していた患者については最近の通院歴とは無関係に再来と定義した。なお、電話による指示や説明だけで、来院にいたらなかったものは除外した。

結 果

2008年度の急患来院数は748名（新規342名：45.7%）、2009年度は680名（新規298名43.8%）であった。

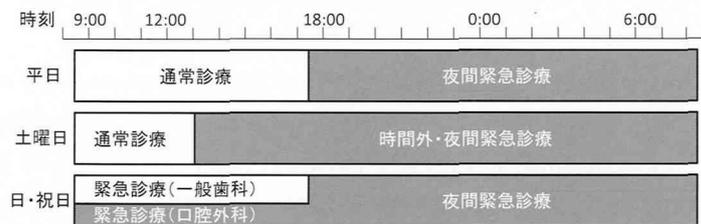


図1：松本歯科大学病院の夜間緊急診療体制

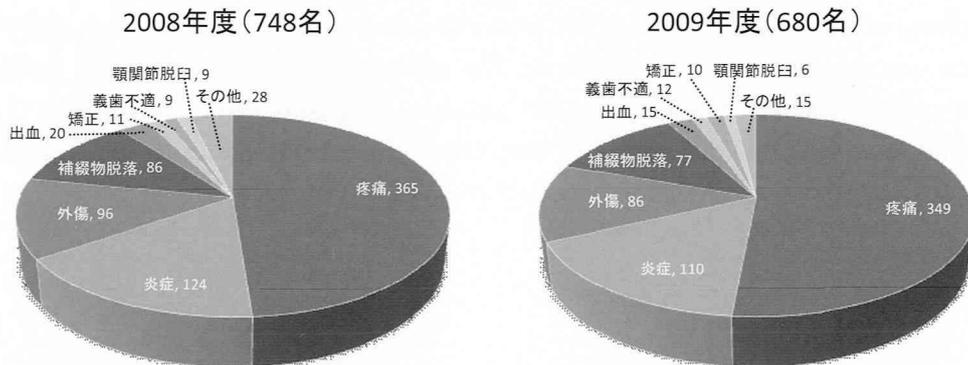


図2：休日・夜間緊急診療患者の症例内訳

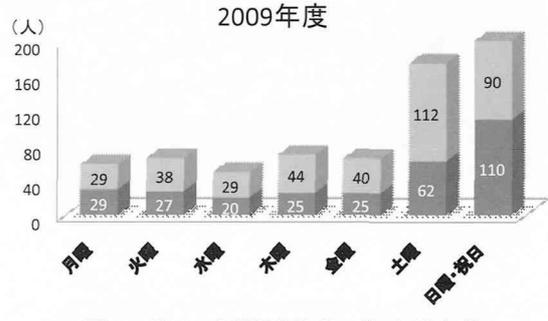
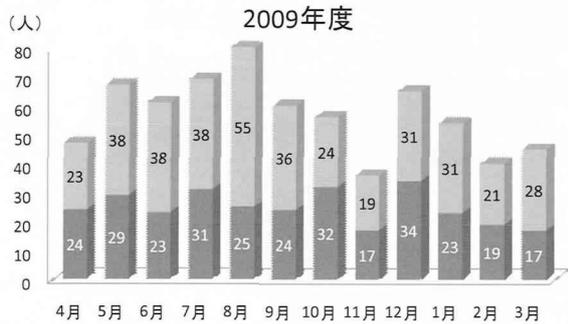
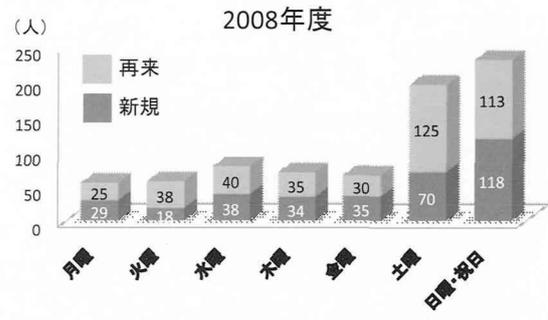
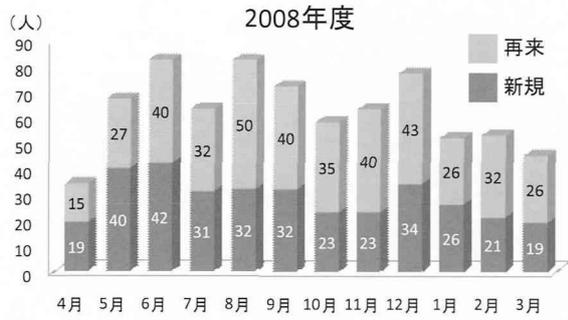


図3：休日・夜間緊急診療の月別患者数

図4：休日・夜間緊急診療の曜日別患者数

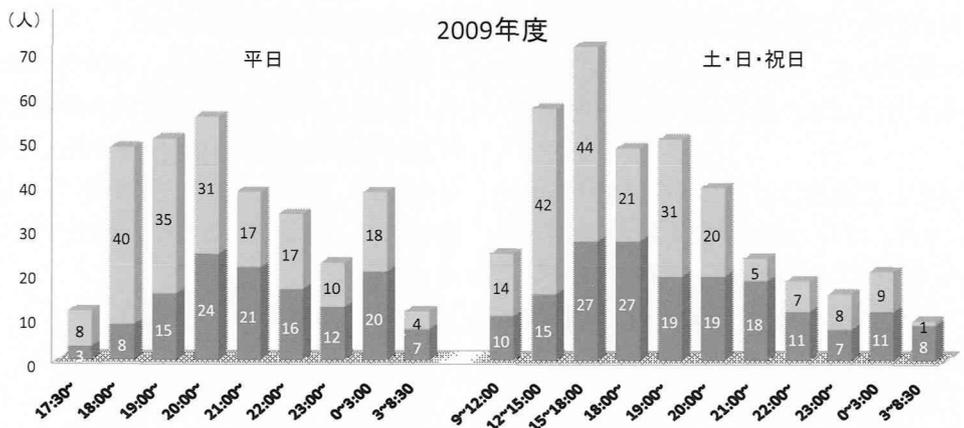
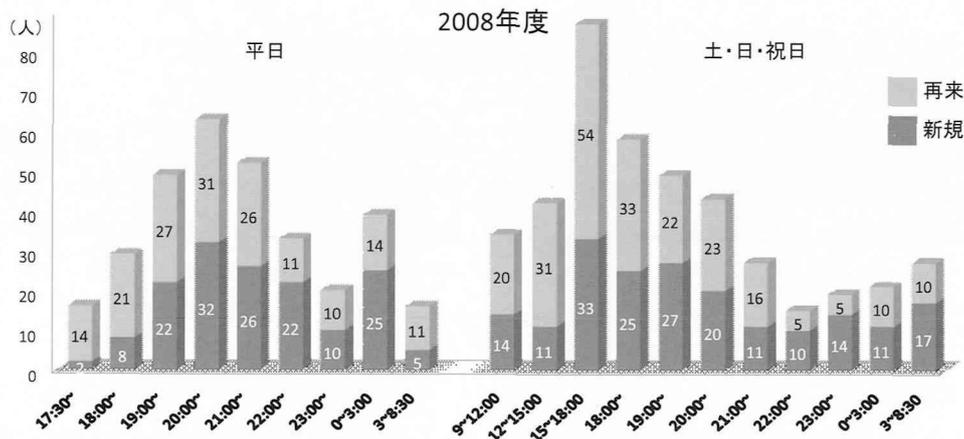


図5：休日・夜間緊急診療の時間帯別患者数

症例内訳は2008年度も2009年度も疼痛が最も多く、次いで炎症、外傷、補綴物脱落・不適、出血

の順であった(図2)。主訴・疾患内容別では、疼痛を主訴に来院した急患、炎症と診断された急

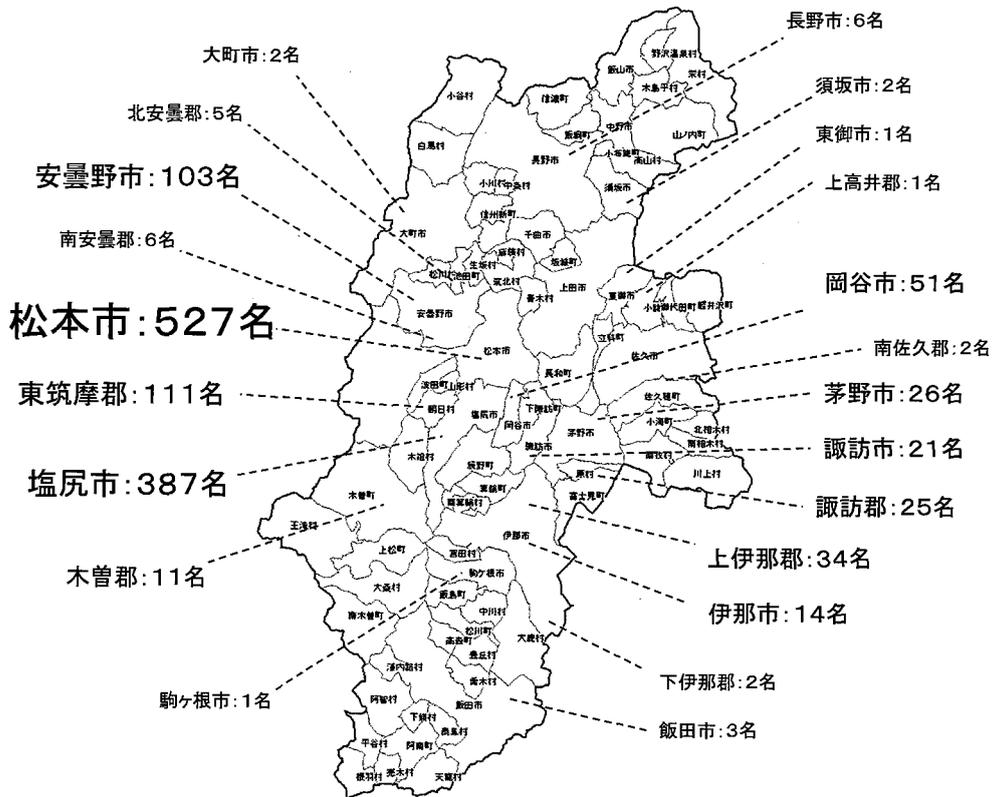


図6: 地域 (住所) 別の緊急診療来院患者数

患の新規患者割合は約1/2であった。一方、外傷の急患の新規患者割合は約2/3を占めていた。逆に、補綴物脱落・不適を主訴に来院した新規の急患は1/5にとどまっていた。

月別の急患来院数は、2008年度では6月と8月の82人、12月の77人、5月の67人が多く、4月34人と3月45人が少なく、月平均では62.3人であった(図3)。また、2009年度は8月の80人、7月の69人、5月の67人、12月の65人が多く、11月36人、2月40人が少なく、月平均では56.7人であった。いずれも8月と12月の急患数が多い傾向が認められた。

疼痛を主訴とした患者に限った場合、2008年度6月、8月、9月、12月、2009年度8月、7月、6月、12月が多く、いずれも8月、6月、12月が上位にあった。一方、外傷は2008年度6月、10月、7月、8月、2009年度7月、10月、12月が多く、いずれも7月と10月が上位にあった。

月別の新規患者割合は、2008および2009年度においても大きな差は見られなかった。

平日では、2008年度は水曜日、木曜日、金曜日に急患数が多く、2009年度は木曜日、次いで火曜

日と金曜日が同数であり、木曜日が多い傾向にあった(図4)。一方、週末では、土曜日の急患数が最も多かった。新患の占める割合は、平日においては特徴が認められないが、日曜・祝日においては過半数を占めていたのに対し、土曜日の新患割合は約1/3であった。

平日の時間帯では、20時台が最も多かった(図5)。土曜日、日曜日と祝日を合わせた場合は昼間の日常活動時間帯に多かった。

患者を地域別にみると、2008年度は松本市271名、塩尻市217名、東筑摩郡59名の順に多く、2009年度は松本市256名、塩尻市170名、安曇野市61名であった(図6)。また、長野県外の住所の患者は40名で、帰省中、旅行中、出張中ということであった。

考 察

休日の口腔外科的疾患患者の対応と夜間緊急診療に関する今回の調査で、年間約700名を診療していたことが明らかになった。新規患者の占める割合は40%強であったが、緊急診療時は、当院に現在通院治療していない患者でも過去に当院の診

察券番号を保有していた患者は再来患者としたため、実際の新規患者の占める割合はさらに増えると思われる。地域医療の連携体制のもとで松本歯科大学病院の夜間・休日緊急診療の役目を考えると、新患の応急処置を行ったあとの継続的な治療の引き継ぎを円滑に開業歯科医院に移行しなくてはならないと思われる。以後の治療に関する指示について、診療録をみると口頭での指示にとどまっていることが多かったが、所見や応急処置の内容等、診療情報提供書を手渡すことが理想的である。今回の調査では検討の対象とはしなかったため、実態の把握はできなかったが、電話による相談や対処法の説明・指示で解決する患者も多い。松本歯科大学病院の夜間緊急診療体制は、1名の歯科医師で入院患者病棟の当直業務と兼務しており、急患の対応中にコールを受けることもある。他家の報告^{1,2)}と同様に今回の調査でも、時間帯では19時から21時台が夜間緊急診療のピークであり、病棟における定時の点滴静注の時間帯とも重なっている。安全で円滑な診療を行うに当たって、このような問題点も浮かび上がった。

中信地区では、木曜日を休診としている一般開業歯科医院が多く、診療終了時間も17時30分、18時や19時までとしている医院が多い。木曜日が他の平日の曜日と比較してわずかに多く、また、19時以降の2, 3時間で最も多くの急患が来院していたことから、突発的な症状出現で、かかりつけ歯科医と連絡がとれなかったため当院を受診したものと考えられた。参考までに、歯科医院での夜間緊急時の対応について無作為に調査したところ、携帯電話や自宅の番号を患者に知らせておく、緊急の対応ができる病院を紹介しておく、といった対応が個別にとられていた。松本歯科大学病院への受診が可能な地域では、本院に対する夜間・休日緊急診療の認識は高いように思われたが、それぞれの歯科医院によって当院についての認識にかなりの差を感じた。

歯科医院数296件³⁾、診療圏人口約65万人の北信地域の中核病院である長野赤十字病院の口腔外科では年間平均190名の夜間・休日患者対応であったと報告されている⁴⁾。当院の診療圏は患者の地域別の分布から松本、木曾、上伊那、さらには大北保健診療圏も含んでいると考えられ、その人口は約72万人⁵⁾、歯科医院数は438件³⁾である。当院

における夜間・休日緊急診療の新規患者数が年間約300名という実績は、中信地域の救急歯科医療に貢献していると思われる。都市圏では、東京歯科大学市川総合病院の歯科・口腔外科が臨床統計を発表しており、夜間・休日救急外来では2年間で2714名と報告されている¹⁾。本院の場合、日曜・祝日の8時30分から17時30分までの時間帯の口腔外科的疾患以外の対応は夜間緊急診療とは別の診療室で行われており、その来院患者数のみ示すと、2008年度は989名、2009年度は798名であった。これらを加えた本院の夜間・休日緊急診療全体での患者数は3215名にのぼり、都市圏の報告を上回っている。公的な夜間診療の医療施設動態は不明であるが、インターネットの歯科医院専門サイト⁶⁾で「夜間診療」で絞り込み検索すると、東京都では8855件のうち242件該当し、20時、21時まで診療を標榜する歯科医院も多数みられる。長野県では935件のうち1件しかヒットせず、松本歯科大学病院の診療圏では、夜間の緊急時には何らかの経路で当院に行きつくと思われた。しかしながら、同じ都市圏でも、大阪府歯科医師会の夜間緊急歯科診療では3年間で来院患者数は18521名と報告されている²⁾。その報告には来院経路についても述べられ、「119番への電話で診療所を知った」のが6000名ほどで約1/3を占めている。次いで、「府医師会救急医療情報センターへの問い合わせ」、「人から」、「インターネット」、「歯科医院」という順であったとしている。これらの動向は、当院の緊急歯科医療体制についての広報活動の参考になると思われた。

患者の立場で考えた場合、夜間緊急時に歯科医師が対応してくれるというのは非常に心強いと思われるが、通常診療時間帯に通院できない生活スタイルの患者にとっての夜間“通常”診療とならないように医療スタッフが配慮することも必要である。したがって、緊急性を要するものなのか適切に判断することが肝要である。歯科医師1名で対応しているため、広義のトリアージとも言うことができる。容態の急変、治療中の偶発症など救命が必要な場合の救命医療機関との連携、また、医療スタッフの針刺し事故の対応など医療安全も課題としてあげられる。今後、松本歯科大学病院の夜間・休日緊急歯科診療が地域医療にさらに貢献するためには、これらの課題の改善と、受

診患者の意見・感想, 地域の一般開業歯科医院からの要望等を収集する努力をしなければならないと思われる。

謝 辞

稿を終えるにあたり, 患者動態統計に御協力を頂きました本病院事務職員の佐藤ちづる様に深謝申し上げます。また, 松本歯科大学病院夜間・休日緊急歯科診療に従事されているすべての職員の方々に敬意を表します。そして, 本論文執筆にあたり, 貴重な御意見を頂戴致しました塩尻市さいわい歯科医院院長 森 亮太先生, 松本市田中歯科医院 田中三貴子先生, 安曇野市山田歯科医院院長 山田由紀先生, 伊那市 矢島歯科医院院長 矢島八郎先生に心より御礼申し上げます。最後に, 本調査を通じ丁寧な御助言を賜りました社団法人 松本市歯科医師会会長 上島昌先生に深甚なる謝意を表します。

文 献

- 1) 西久保周一, 花上伸明, 高田篤史, 森崎重規, 渡邊 裕, 外木守雄, 山根源之 (2007) 救急外来における小児患者の臨床的検討. 小児口腔外科 **17**: 85-9.
- 2) 岡 邦恭, 橋本 武, 古川壽男, 赤根賢治, 天羽 隆, 廣田克征, 中原寛和, 連 利隆, 市原 聡, 光井三郎, 木田友信 (2007) 一隅に一燈を照らし続ける夜間緊急歯科診療3年間の軌跡. 大阪府歯科医師会雑誌 **686**: 8-26.
- 3) 長野県医療名鑑2009年度版 (2009), 6-7, 医療タイムス社, 長野.
- 4) 横林敏夫, 清水 武, 川原理絵, 櫻井健人, 上杉崇史 (2007) 長野赤十字病院口腔外科における病診連携の現状と問題点. 新潟歯学会雑誌 **37**: 17-22.
- 5) 歯医者さん net <http://www.haishasan.net/>